

すべては三浦のために



4月30日より神奈川県議会議員の任に当たらせていただいております。選挙出馬以来、現在に至るまで本当に多くの皆さまにお世話になりました。

「任に当たって譲りがたし」。

お世話になった皆さまの付託と信頼に応えるべく、一人区の神奈川県議としての任を果たしてまいります。会派は、最大与党である自由民主党神奈川県議会議員団に所属し、環境農政常任委員会、経済活性化・産業振興特別委員会の委員として活動しています。

それぞれの委員会で質疑・意見を発表を行い、厳正な審査をさせて頂きました。すべては三浦のために、神奈川のために。初心を忘れずに努めて精進してまいります。

今後ご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

ごあいさつ

県議会の見える化

- 身近な県政の実現
- 徹底的な情報公開
- 政務活動費の積極的公開
- 活動報告「かけはし」やブログ SNS による情報発信



防災力の向上

- 地震・津波対策
- 台風・土砂災害対策
- 防災意識向上の取り組み
- 消防広域化と施設整備



地域経済の活性化

- エコノミック・ガーデニング
(地元企業の発展・活性化)
- 企業誘致・雇用政策の推進
- 環境に優しい循環型社会へ
(省エネ・自然エネルギー)
- 東京オリンピック・パラリンピック
のためのかながわビジョン 2020 推進



6次経済 地方創生の推進

- みうら独自の6次経済推進
- かながわ三浦ブランドの向上
- 地方創生・国家戦略特区への取り組み
- 県営三崎漁港の新たな展開



健康寿命日本一かながわへ

- 健康寿命延伸 (いつまでも元気に働けるまち)
- 地域医療・福祉の充実
(地域包括ケアシステム推進)



交通力の向上

- 西海岸線道路・三浦縦貫道の早期実現
- 公共交通の利便性向上
- 交通渋滞解消策の検討



1人でも多くの かながわ三浦ファンを！

- 世界を魅了する国際観光都市かながわへ
- 三浦半島の連携
- 「新たな観光の核づくり」の推進
- 自分たちのまちは自分たちでつくる



地域の教育力向上

- 少子化対策
- 地域の子どもは地域で育て
子育て世代に優しいまちへ
- 故郷や先生、自分を尊敬できる
「誇りある教育」の推進



石川たくみのプロフィール

昭和48年(1973年)生

- 1996年 早稲田大学教育学部 卒業
- 1996年 凸版印刷株式会社 入社
- 2001年 有限会社丸石製作所 入社
- 2011年 公益社団法人 三浦青年会議所 第50代理事長
- 2013年 三浦市議会議員(一期)
- 2015年 神奈川県議会議員 就任



石川たくみ事務所 三崎口駅前

三浦市初声町下宮田 489-11 長嶋第2ビル2階 電話：046-888-1310

所属：環境農政常任委員会
経済活性化・産業振興特別委員会

Facebook: takumi.ishikawa.16 Twitter: @takumixp

石川たくみ で検索!

質疑

小網代の森について

環境農政常任委員会

【石川賢周】

5月1日にNHKのテレビ番組「金曜²⁰」で、連休は新緑へGO！近くて気軽な穴場スポット。」で小網代の森が取り上げられました。放送以後のゴールデンウィークから、来場者が急に増えているようです。

トイレの指定管理事業者の話をお願いしますと、現在仮設トイレは2基設置されていますが、繁忙期のゴールデンウィークには毎日備品を追加しても追いつかないくらい厳しい状況ということでした。

これからの時期、ゲンジボタルを見るツアー等利用時間も拡大する予定となっています。

小網代の森のシーズンはこれからで、このまま夏を迎えて大丈夫なのか関係者は心配しています。

仮設トイレの増設等対応策はどのように考えてでしょうか？

【自然環境保全課長 答弁】

小網代の森年間10万人以上の利用者が見込めるとのことになりましたので、現在設置しております仮設トイレに替えまして、平成

28年度に本設トイレを設置する予定で本年度当初予算で本設トイレ設置のための調査経費を計上しております。

それまでは仮設トイレの設置で対応していくつもりです。

【石川】

（本設トイレ設置のスケジュールについて）具体的なスケジュールをお聞かせ下さい。

【自然環境保全課長】

今実際、設置する箇所と法的な関係をクリア出来るように動きをしています。

設置選定をして、設計は本年度したい、というふうを考えています。

来年度着工して、来年度中に完成する、というスケジュールです。

【石川】

担当課長が、小網代の森について「都市のみどりの保全・活用」の象徴的な取り組みである、とおっしゃいました。

貴重な自然が残る「小網代の森」について、環境学習の場として一人でも多くの県民に利用されるように、しっかりとすみやかに取組みを進めて頂けますよう、特に本設トイレが来年度の夏のハイシーズンに間に合いますよう、要望をさせていただきます。

質疑

新たな担い手の育成と確保

経済活性化・産業振興特別委員会

農業における担い手の育成は、耕作放棄地の解消、農地の有効活用のほか、新たな雇用の創出など、地域活性化に大きく貢献すると期待されます。神奈川県は農業を維持発展させていくためには、担い手の育成確保は重要な課題です。

「かながわ農業アカデミー」について質疑を行いました。

三浦市において、最近新規就農者が3名出ることになるそうですが、そのうちの2名が「かながわ農業アカデミー」出身ということ

です。新規参入者の就農については、市町村や農協など関係機関と連携し、取り組んでいただくことを要望しました。また、農家子弟であっても、経営規模拡大や親とは異なる経営を展開するケースも増えてきています。資金や農地の情報まで相談できる窓口が校内にあることから、農家子弟の経営発展にも貢献できるよう工夫した運営を求めました。三浦市の農家向け婚

質疑

6次産業化の推進について

経済活性化・産業振興特別委員会

7月8日

活パーティー、アグリ²⁰デートは、近年何組かのカップルを誕生させました。農家の娘さんのムコ探しにも新たに取組むとのこと、県としての部局横断的なご支援を強く求めました。

地域活性化の方策の一つとして、6次産業化を推進は大きな効果があると考えています。

地産地消による農業の振興の取り組みである6次産業化（一次産業である農林水産業が、加工（二次産業）、流通・販売（三次産業）と一体化・連携して実施すること）について議論しました。

経済産業省と農林水産省が共同施策の農商工連携においては、県内企業が実績をあげています。三浦市では、農家と製麺工場が連携して、三浦産イタリアントマトを利用したトマトソースやパスタを開発する事業が認定を受けました。国レベルでは、経産省と農



今現在、小網代の森にはこのトイレしか設置されていません。

質疑

三崎地区の高度衛生管理対策

環境農政常任委員会

三崎漁港の高度衛生管理対策と港活性化について質疑をさせていただきますました。

高度衛生管理対策推進に向けての三崎魚市場整備に対して、広域自治体である神奈川県としても、費用面や技術面の支援を行うこと、そして今回の計画推進をチャンスに、水産業振興と地域振興を一体

水産省の共同施策で農商工連携が実施されています。

農家が主体となって動くことは難しく、商工業からの働きかけの方がマーケットインの論理にかなっているのではないかと考えます。

神奈川県としても、環境農政局と産業労働局のより一層の連携を深めることはできないのか可能性を問いました。農林水産業の6次産業化の推進にあたっては、小規模な農林漁業経営が多い本県においては、個人が主体となつては取組みが難しい部分があると考えます。市町村ぐるみなど地域でまとまる取組みや、産業労働局と共同することで、県内の食品加工業者や流通・販売業者とより連携した6次産業化の推進にしっかりと取り組んでいただくことを強く求めました。



次回、「神奈川県議会第3回定例会」9月8日から開催されます。

石川たくみの「一般質問」日程が次回の県議会に決まりました！9月17日（木）13:00開催予定。

質問内容は、道路問題や地域経済の活性化等についてを黒岩知事に問います。



的に取り組むことを、強く求めました。今年5月、水産庁で三崎地区の高度衛生管理基本計画を策定し、安全・安心な水産物の安定供給のために三浦市が主体となって三崎魚市場エリアの高度衛生管理化を進めています。最適で衛生的なスペースを確保するため「冷凍マグロ」と「沖合・沿岸もの（活魚・鮮魚）」を分離し、冷凍マグロを扱う低温卸売場を新設、平成28年度に着工予定です。